

## 農業農村工学系の大学生のための技術研究所の見学会のご案内

### (一社)土地改良建設協会

(一社)土地改良建設協会では、土木工学や農業農村工学の魅力を学生に伝えるために、(公社)農業農村工学会と連携して、農業農村工学系の学部・学科の学生に対して、会員企業の技術研究所の見学会を開催しています。

令和3年度の第1回見学会は下記の予定です。参加を希望される学生は、1 住所、氏名、電話番号、2 大学名、現在所属の学部・学科名、及び学年、3 当見学会をご紹介いただいた教員名とその方法(授業で紹介、学科の掲示板に掲示、教員からのメールなど)、ただし、学会のLINE公式アカウントによる場合は、「LINEを見た」と記す、4 見学を希望する理由(簡潔に100字以内)、5 見学希望対象施設名(奥村組技術研究所又は安藤ハザマ技術研究所)を記して、7月30日(金)までに当協会(jigyo@dokaikyo.or.jp)宛に顔写真を添付の上、件名を「技術研究所見学会希望」としてメールしてください。

#### 記

- 1 奥村組 技術研究所(茨城県つくば市) 令和3年9月3日(金)  
つくばエクスプレス つくば駅に13時に集合  
(東京駅からは、JR山手線で秋葉原駅5分、秋葉原駅から  
つくばエクスプレスでつくば駅まで約50分)
- 2 安藤ハザマ 技術研究所(茨城県つくば市) 令和3年9月14日(火)  
つくばエクスプレス 研究学園駅に12時30分に集合  
(東京駅からは、JR山手線で秋葉原駅5分、秋葉原駅から  
つくばエクスプレスで研究学園駅まで約50分)

研究所見学の終了後、1については奥村組の技術者に農林水産省の若手技術者も加わり、意見交換会を開催します。

2については農研機構に移動し、農村工学研究部門の見学と併せて、安藤ハザマ、農研機構及び農林水産省の若手技術者との意見交換会を開催します。

どちらも和やかな意見交換会ですので、民間、国、双方の技術者から率直なお話しを聞くことができ、学科や専攻の選択、就職先の選択を考える上で貴重な機会となるものです(これまでの参加者の感想は、当協会のホームページで見ることができます)。

なお、解散は18時前後を予定しています。

また、見学会終了後、2週間以内に800字以内の感想等を提出することが条件となります(会誌「土地改良」等に掲載した場合には、5千円の原稿料を支給します)。

なお、旅費の支援として、当協会から、①東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県管内の大学の学生に対しては2千円、②栃木県、群馬県、山梨県、静岡県管内の大学の学生に対しては5千円、③東北、北陸、東海、近畿農政局管内及び長野県管内の大学の学生には、1万円、④中国四国農政局管内の大学の学生には、1万5千円、⑤北海道、九州農政局、沖縄の管内の大学の学生には、2万円を支給します。参加人数は、1及び2とも各10～15名程度を予定しています。応募者多数の場合は、当協会で選考します。選考結果は、8月2日(月)までにメールでお知らせします。

なお、選考された学生がチケット等を手配した後に、新型コロナウイルス感染症対策等に関連して、見学会が延期となり、旅費のキャンセル料が発生した場合は、支援金の範囲内でお支払いします。

各施設の内容は、各研究所のHPを参照してください。

奥村組技術研究所 → <https://www.okumuragumi.co.jp/technology/>

安藤ハザマ技術研究所 → <https://www.ad-hzm.co.jp/tr/giken/>